



第4回学校運営協議会報告

開催日時 令和7年11月18日(火)

10:00~12:30

次第：司会(委員長)

1 委員長・校長あいさつ

2 本日の流れについて

3 区の学力調査の結果について

4 4年生からのインタビュー

5 熟議「基礎学力定着のための方策」

6 報告・起業家教育の各学年の取組

・コーディネーターの活動

・日ASEAN中高教員交流事業

7 給食試食・情報交換

8 事務連絡

「区の学力調査の結果について」の感想

- ・繰り上がり繰り下がりなど、低学年のうちにしっかり学習しないと次学年で苦労してしまう。
- ・九九の基礎固めが大事になってくるのではないか。
- ・漢字や計算などのドリルなどは、学習用端末ですか？
→ 計算は学習用端末で、漢字は手書きです。
- ・基礎学力を上げるには、学習意欲を上げる必要があり、それは担任の力が大きいのではないか。
- ・日記の宿題が出ていて、とてもいいと思っているが、先生のコメントがあるのとないのとでは、子どものやる気が違ってくると思う。スタンプだけでは、先生が読んでいるのか分からぬ。日記に対して、コメントを書いて、字の間違いままで直してくれる先生もいるので、担任によって子どもの意欲が変わってくるのではないか。
- ・7月のCSで見た全国学力調査の結果報告と比べると、出題傾向が全く違う。6年生の問題は、大人でも読むのがいやになってしまった。よく頑張っていると思いました。

熟議「基礎学力定着のための方策について」～学力調査と各学年の九九定着の結果から～

- ・学校全体で基礎学力を上げるために何をすればいいか。
- ・能力というより環境ではないか。両親共働き、一人っ子が多く、向き合う相手がないので、家庭学習が定着しないことも、原因の一つではないか。
- ・家庭の教育力が弱いこともあるので、低学年までは担任がしっかり宿題を見てあげた方がいいと思う。
- ・九九は反復が大切なので、家でどれだけできるかなど、保護者の協力は必要だと思う。
- ・とにかく九九だけはマスターさせたい。思考するわけではなく、唱えて覚える作業なので、何とかなるのでは。
- ・なかよしこ班で九九を教えてあげたり、確認してあげたりするのはどうか。
- 定着していない中・高学年の児童も頑張るのではないか。
- ・2年生の終わりに、九九が全部できたら校長先生から賞状をあげてはどうか。
- ・掃除の時間に、九九CDをかけるのはどうか。縦割り掃除なので下級生も覚えるかも。



中休みに4年生児童がCS委員にインタービュ：総合的な学習の時間「バリアフリー大作戦」で、原町小学校にあつたらしいな、ここが不便だな、と思うことについて、4年生がインターにきました。

インターを受けての感想

- ・点字ブロックやスロープがあるといい。視覚障害者は耳がいいので、耳から入る情報があるといいと伝えました。
- ・エレベーターがあるといいわね、と言ったら「お金がかかるから難しいです」と答えていて、そこまで考えているんだと思いました。
- ・自己紹介から始まり、バリアフリーの説明までしてくれて、立派な4年生だなと思いました。
- ・とても丁寧な言葉を使っていて驚きました。

次回開催は12月19日(金)です

